

【別紙】スマート・ソース・エディター（SSE）の主な特長

1. 原稿データフォーマットに XML 形式を採用することで、データの容易な二次・三次利用を実現
  - (1) 印刷物、電子書籍、web などあらゆる形式に展開できる汎用的なデータとして XML 形式を採用することで、重版、文庫化、デジタルコンテンツ化などに容易に変換可能。
  - (2) 従来の紙からデジタルコンテンツを制作するワークフローから、紙とデジタルコンテンツを同時に制作するワークフローが実現し、業務の効率化に貢献。
2. NEC の日本語解析エンジンと講談社監修辞書による高性能校正機能により、校正・校閲作業の負荷軽減と時間短縮に貢献
  - (1) 校正のチェックレベルを細分化することで、原稿内容に応じた校正が可能。
  - (2) 文書作成のルールに従って原稿データをチェックし、エラー箇所の検出が可能。
  - (3) 余計な改行の削除、全角・半角、括弧を統一するなどの原稿整理が可能。
  - (4) 小学生から高校生、一般レベルまで各レベルに合わせた漢字の検出および、指定した学年に合わせた自動ルビ付けが可能。